



人の心を和ませるやさしい花の力 もっと多くの人に知って欲しい

就農したきっかけは

平成元年に岡山県が「岡山花物語（岡山県花き生産振興計画）」を策定しました。私自身は建設業を営んでいたのですが、お客さまからの薦めもありこの事業に関わる事になりました。当時、芳井町内では15人ほどがこの事業を利用して花き栽培をはじめました。

本格的に栽培をはじめて

最初は、ハウス2棟でカーネーションの栽培をスタートさせ、1年ごとに1棟ずつ増やしていきました。この時役立ったのが建設業で培った



技術です。ハウスの設置から、作業機械のメンテナンスまですべて自分でやっています。8月に花の種まき〜9月にハウスに植え替え〜10月は稲刈り〜12月頃から5月まで花きの出荷。それと並行して建設業も続けているので、忙しい時期には家族総出で作業していました。

大変だったことは

芳井町では、昔から花き栽培が盛んです。この地域の気候が栽培に適しているからでしょうか。ですが、私が住む地区は、山々に囲まれた盆地で夏暑く冬寒いという気候です。植え付け直後は遮光ネットで温度を調節したり、冬はもちろんハウス内の保温に燃料代もかさみます。自然災害では、16年の台風の際に6棟あったハウスのうち、1棟が倒壊、ほかも破損など被害を受けました。あの時は、毎週台風が上陸してなかなか復旧作業が進まず、10月下旬からはじめた作業は年明けまでかかりました。ちょうど年末年始で、建設も忙しい時期でしたから大変でした。収益面では、いくらか出荷できたのでゼロではありませんでしたが。

今思っていることは

ハウス1棟へ1万本を栽培しています。出荷時期には、毎週2回の市場出荷にあわせた集荷で、労力もかかります。花きの栽培をはじめて30年。高齢化や後継者不足で、この地区でも農業者がいなくなり、空家や荒地が年々増えています。行政やJAには、農業への魅力をもっと感じられるような、やる気を起こさせるような体制を整えてもらいたいと思います。今後は、夫婦元気で、好きな植物に囲まれて農業を続けていければと思います。



妹尾さんの生産する花きは、大阪・神戸市場出荷のほか、井原直売所「いばら愛菜館」でも取り扱っています。

■井原直売所「いばら愛菜館」
〒715-0019 井原市井原町512-2
TEL.0866-62-1539
営業時間 9:00~14:00
定休日 日曜日・年末年始

【花き生産者】

妹尾英二さん・正美さん

せのお えいじ 66歳/まさみ
花き生産30年/金魚草・ナデシコ・ストックほか、花木と草花あわせて14a、水稻40aを経営。